

2008年 夏号



松下賢一郎 議会レポート

発行責任者
藤沢議会議員
松下賢一郎
0466-34-4570
matusita@tbb.t-com.ne.jp

小児医療費助成制度が小学6年生まで拡大！

6月市議会の条例改正により、平成21年4月1日から、小児医療費助成制度が小学校6年生終了時まで拡大されることになりました。

「藤沢市公明党の要望が実現しました」

小児医療費助成制度は、神奈川県補助対象事業として藤沢市においては、平成16年10月から小学校就学前までを対象に所得制限無しで実施されてきました。

こうした中、神奈川県が平成20年10月から、現行の補助対象年齢「3歳未満」を「就学前」へ拡大することを受け、藤沢市においてこの財源を活用し、助成対象を小学校6年生まで早急に拡大することを求めた緊急の要望書を、4月10日、海老根市長に提出しました。



これを受け、6月市議会に条例改正が提出され、藤沢市公明党の粘り強い取組が実現しました。

「神奈川県内で小学校6年生まで助成は2市だけ」

県内で小児医療費無料化を小学6年生まで拡大するのは、藤沢市と海老名市の2市だけです。また、引き続き所得制限は無しで、対象者は2006年より2万2千9百人ほど増える見通しです。

妊産婦健診の公費負担を5回から10回に拡大！

藤沢市の妊産婦健康診査の公費負担は、平成19年度までは2回に止まっていたのですが、藤沢市公明党の要望が実現し、今年度(平成20年)から5回に増えました。そして更に、年度の途中にも係わらず、今回の補正予算では10回まで公費負担が拡大されることになりました。

「安全・安心の出産の為に公費負担の拡大を要望」

妊産婦健康診査は、胎児の健康と母体の健康管理という観点から14回程度が望ましいとされていますが、安心して出産を迎えられるよう、また、経済的理由等で健診を諦めることを防ぐためにも、14回すべてを公費負担することを求め、4月10日、市長に緊急の要望書を提出しました。

この結果、6月補正予算により、公費負担を10回より10回へ拡大する事になり、神奈川県内の自治体では最多の公費負担支援が実現しました。



これまで推進してきた子育て支援策が拡充！

6月市議会で可決した補正予算では、この他にも我々が推進する子育て支援策が拡充されます。

不妊治療として体外受精の助成回数を年1回から2回に拡大(1回の上限10万円)。

3人以上が保育園に同時在園の場合、第3子以降の保育料を免除。

スクールカウンセラー(学校教育支援相談員)を3人増員。

障害児者の外出を支援する移動支援事業の利用上限時間を月24時間から月48時間に拡充。

市議会6月定例会で連続28回目の一般質問を慣行

藤沢市議会6月定例会が6月9日から6月25日まで開催され、松下賢一郎は初当選以来(10年間)、連続28回目となる一般質問(個人質問)を行いました。

今回の質問では、「生きる力を育む教育について」と題し教育問題について質問。内容としては、30年ぶりに主要教科を中心に授業時数と指導内容を増加し「ゆとり教育」を見直した「新学習指導要領」への藤沢市の今後の対応について他、教員が子供と向き合う時間の拡充のため地域住民による学校支援活動の促進や、学校のアレルギー疾患に対する取り組みについて等を取り上げました。また、その他の質問は下記の通りです。



「学校裏サイト」から子ども達を守り「ネットいじめ」を撲滅!

文部科学省が行った調査では、存在が確認できた「学校裏サイト」は全国で38,260件のほり、書き込み内容の調査では、「キモイ」「うざい」などの誹謗・中傷表現が50%のサイトに見られ、「死ぬ」「消えろ」「殺す」などの暴力表現も27%のサイトに見られたとしています。

また、神奈川県教育委員会が行った抽出調査によれば、公立中学校すべてで「ネットいじめ」が確認され、「学校裏サイト」についても6割超の中学校で存在が把握されるなど、恐らく藤沢市でも相当数の「学校裏サイト」が存在しているのではないかと考えられます。

このような状況下で、藤沢市の「学校裏サイト」の現状については、調査が難しいため、十分に把握されていないことや、市内の小・中学校において認知したいじめの件数は133件あり、その中で、携帯やパソコンが使われたケースは、中学校のみで11件という説明でしたが、これはあくまで氷山の一角であり、早急に実態調査をする必要と、「ネットいじめ」については危機感を持って取り組みを進めるよう求め、教育長からは「ネットいじめについては、教育委員会としても深刻に受け止めておりますので、今後、対策について考えていきたい」との見解が示されました。

「全国体力テスト」の実施を求める!

子どもの体力や運動能力の低下が問題になっているなかで、文部科学省はこのほど、全国の小学5年生と中学2年生を対象にした「全国体力テスト」を今年度から実施するとしており、子どもたち一人ひとりの生活習慣や学校の指導体制などが体力や運動能力にどう関係しているのかを調査し、体力向上を図るための具体的方策を各学校や家庭で検討できるようにするとしています。

これに対し藤沢市では、「全国体力テスト」実施の通知が年度末であり、既に平成20年度のカリキュラム編成が終わっていることから、今年度は、従来通り抽出校(小学校6校、中学校7校)で実施をし、来年度以降については、各学校に、体力テストへの参加を呼びかけはするものの、早期の全校一律での実施は難しいとしています。

しかし、今回の全国体力テストの特徴は、小学5年生と中学2年生の2回行われることにあり、2回受けられる事で自身の体力向上の度合いも確認できることから、体力の健康診査となる「体力健診」として位置づけて、児童生徒の利益を考え早急に全校で実施するよう求めました。



松下賢一郎プロフィール

<http://www.k-matusita.com>

1958年(昭和33年)生まれ50才

鎌倉学園高校卒

神奈川大学卒

高校・大学では野球部で1番・ショート

神奈川トヨタ自動車(株)に17年間勤務

平成11年4月藤沢市議会議員初当選(現3期)

公明党藤沢総支部長

民生常任委員会委員長(平成17年度)

行政改革等特別委員会委員長(平成19・20年度)